

# イメグリミンの血糖降下作用と腎症への影響

中島内科循環器科メンタルクリニック  
院長 中島 滋夫

# CO I 開示

発表者名： 中島 滋夫

発表者が開示すべきCO I 関係にある企業などとして、

- ①講演料： 住友ファーマ、ノボノルディスクファーマ、ノバルティスファーマ、アストラゼネカ、小野薬品、日本新薬、ファイザー、エーザイ、興和、バイエル薬品、武田薬品工業、日本メドトロニック、中外製薬、田辺三菱製薬、大正製薬、大日本住友製薬、第一三共、キッセイ薬品工業、旭化成
- ②原稿料： MSD
- ③受託研究費： 日本ベーリンガー・インゲルハイム、杏林製薬、サノフィ

# Case 76歳 ♂

- ▶ 主訴；糖尿病コントロール改善目的
- ▶ 現病歴：  
糖尿病、腎症、虚血性心筋症のため通院中。  
フォシーガ10mg、グルベス配合錠3T、トリルシ  
ティ0.75mg/週投与、HbA1c7.6%と上昇傾向と  
なりコントロール改善のため令和3年10月7日に  
当院入院。
- ▶ 既往歴：  
ステント形成術、うっ血性心不全、CRT-D植え込  
み術後。
- ▶ 現症：身長158cm、体重78.8kg、BMI31.5。

# Case 76歳 ♂血液尿検査

WBC	5.9	ALP	50	TC	157
RBC	562	AST	29	TG	158
Hb	15.2	ALT	28	HDL	47
Ht	50.9	LD	212	LDL	79
PLT	16.6	$\gamma$ -GT	43	シスタチンC<0.88	1.23
TP	6.7	CHE	206	UPCR(mg/g)	450
BUN	10.7	CK	47	UACR(mg/g)	169
UA	4.4	T-Bil	0.9	LFABP<8.4	8.13
Cr	1.01	AMY	70	U- $\beta$ 2MG<150	383
Na	143	GS	168	eGFR	51
K	4.0	HbA1c	7.6		
Cl	106				

# Case 76歳 男

トルリシティ0.75mg
フォシーガ10mg
グルベス ツイミーグ2000mg

HbA1c	7.6	7.1	7.5	7.4	7.0
UACR	170		13		19
L-FABP	8.1		0.8		2.5
U-β <sub>2</sub> MG383			216		62



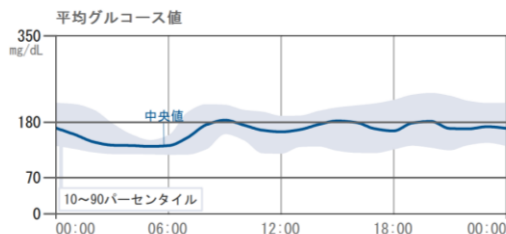
# Case 76歳 ♂

2021年9月17日 - 2021年10月14日 (28日)

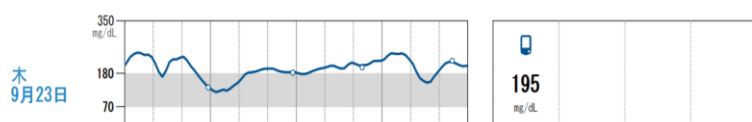
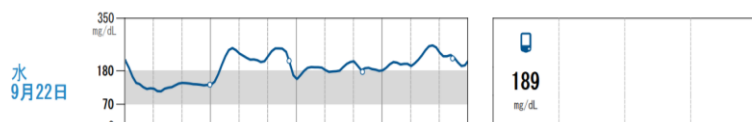
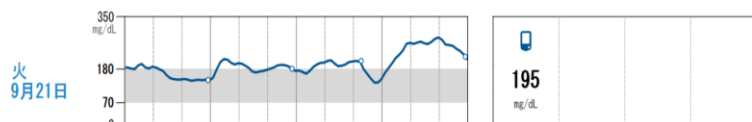
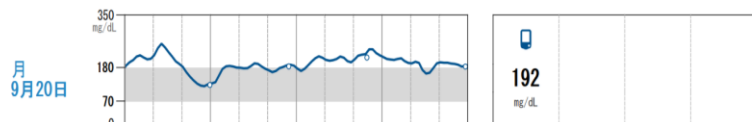
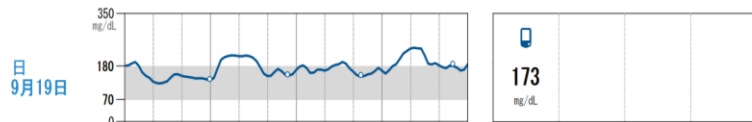
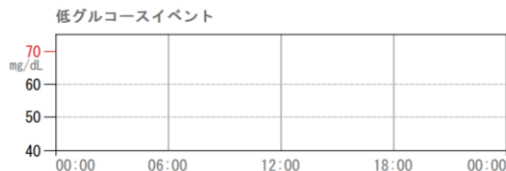
📱 グルコース

推定A1c **7.4%** または **57 mmol/mol**

平均グルコース値	<b>165</b> mg/dL
目標より高い割合	<b>35</b> %
目標範囲内	<b>65</b> %
目標より低い割合	<b>0</b> %



低グルコースイベント	<b>0</b>
平均持続時間	<b>0</b> 分

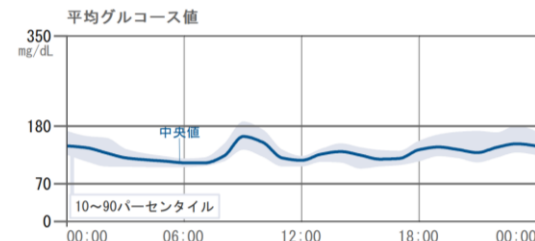


2021年10月12日 - 2021年10月19日 (8日)

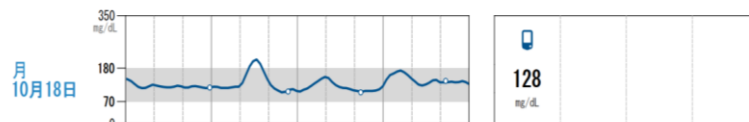
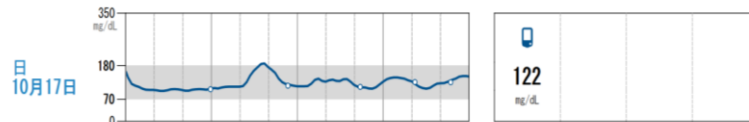
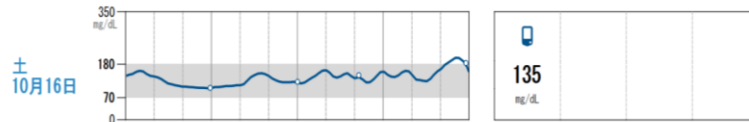
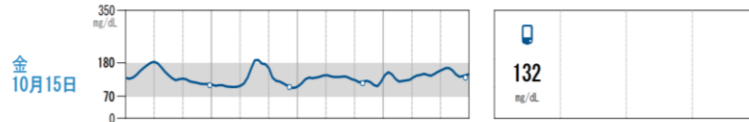
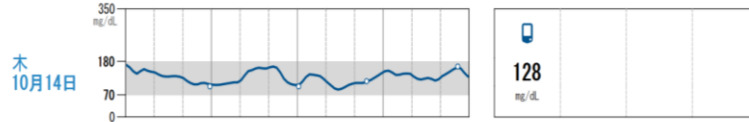
📱 グルコース

推定A1c **6.1%** または **43 mmol/mol**

平均グルコース値	<b>129</b> mg/dL
目標より高い割合	<b>3</b> %
目標範囲内	<b>97</b> %
目標より低い割合	<b>0</b> %



低グルコースイベント	<b>0</b>
平均持続時間	<b>0</b> 分



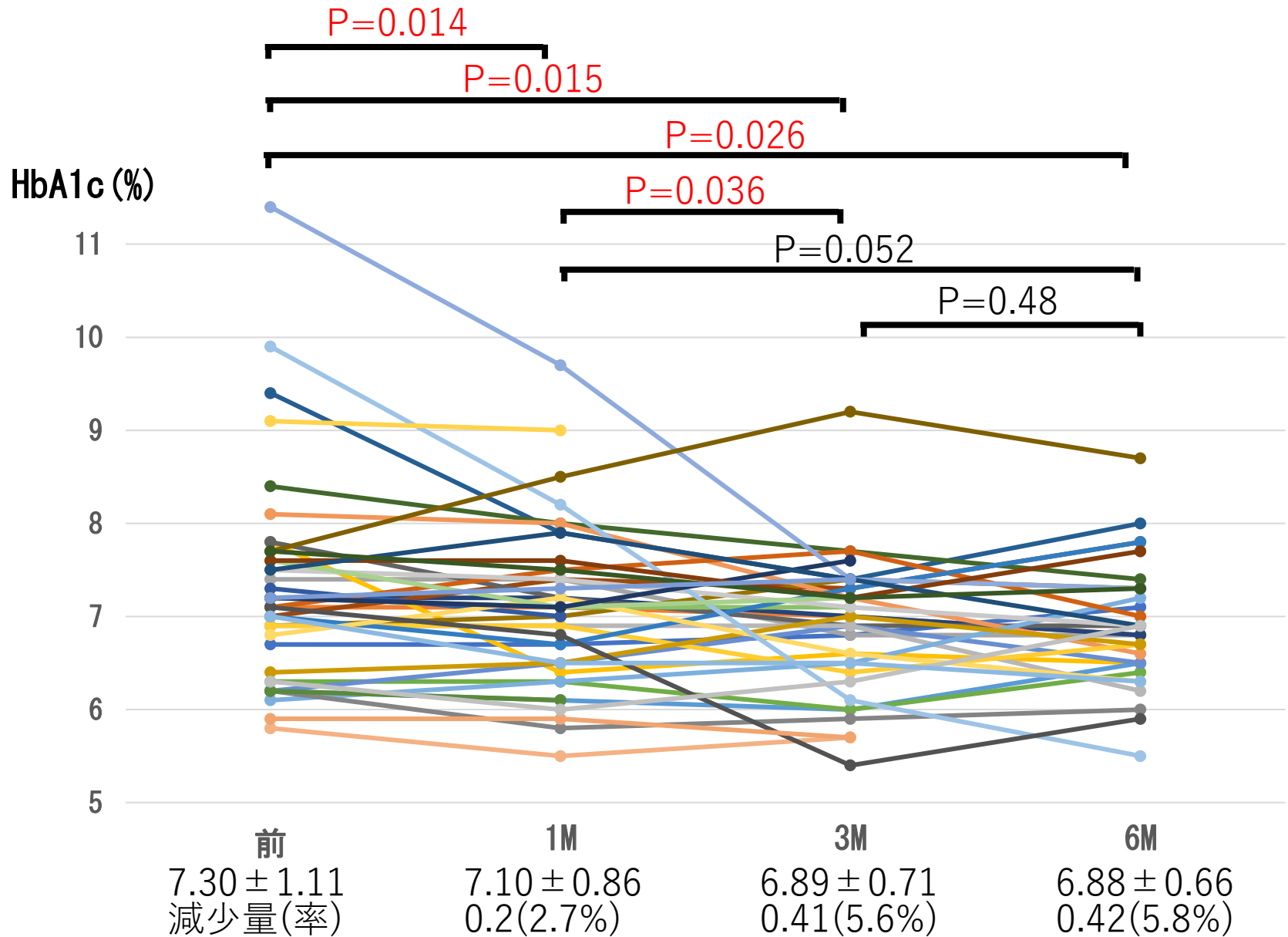
# 当院でのイメグリミン投与例 (令和3年9月～令和4年7月)

• 症例数 45例 男性26例(57%) 年齢66.6±12.7歳

• 併用薬

SGLT+GLP	21例(47%)
SGLT+GLP+MET	7例(16%)
SGLT+GLP+MET+INS	6例(13%)
単剤	4例(9%)
SGLT	3例(7%)
MET	2例(4%)
GLP	1例(2%)
GLP+MET	1例(2%)

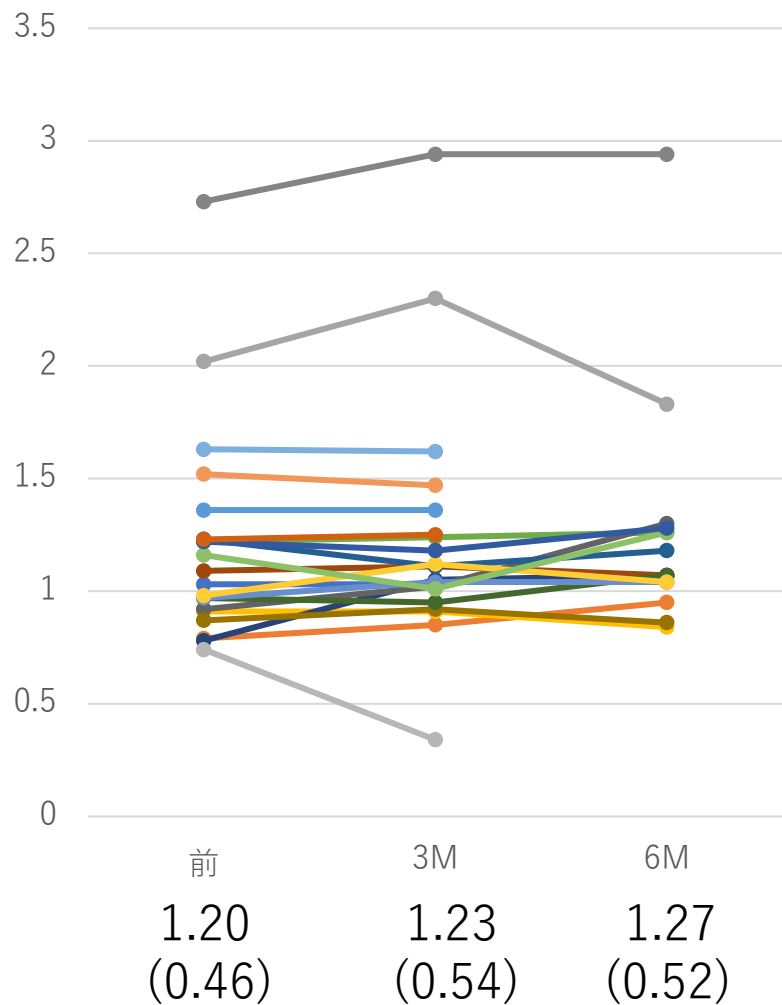
# イメグリミン投与後のHbA1cの経過



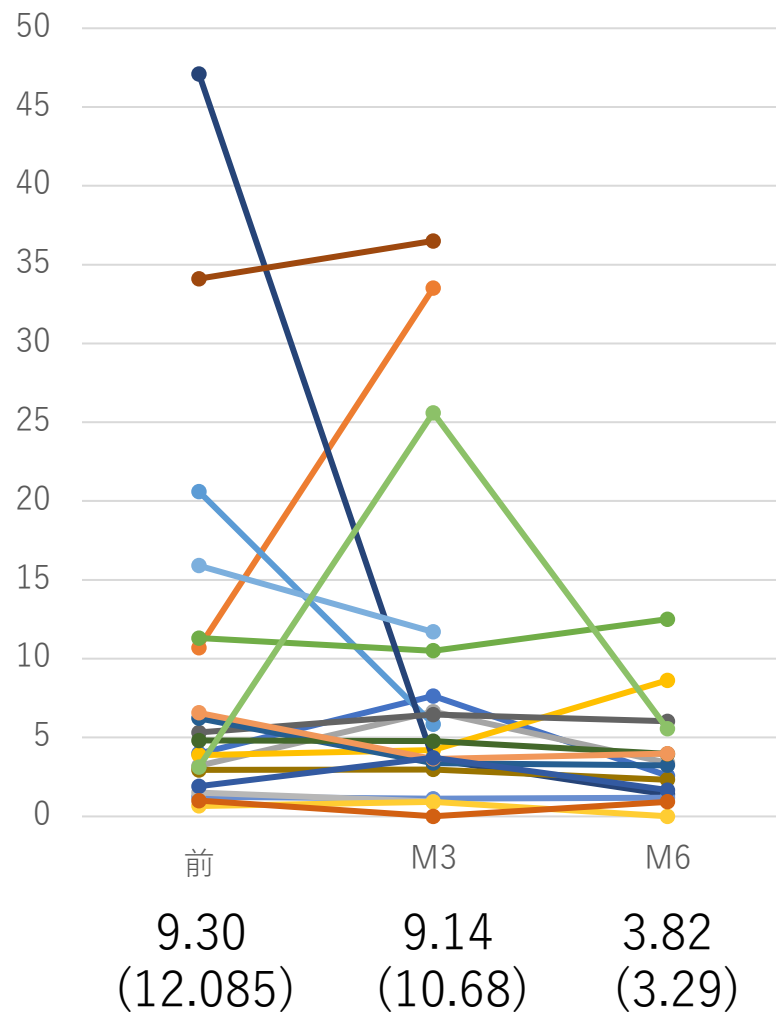


# イメグリミン投与後のシスタチンCとL-FABPの推移

## シスタチンC

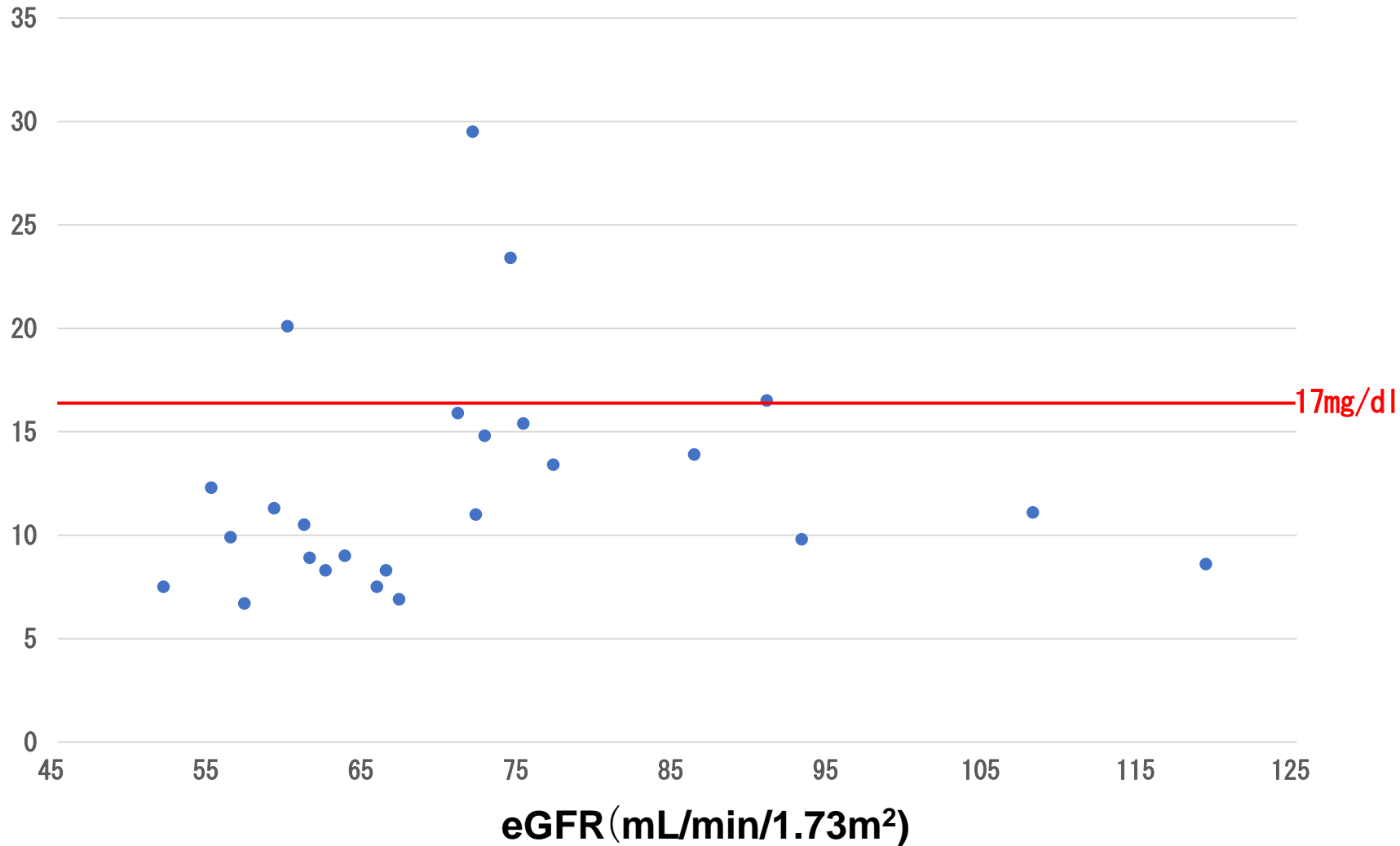


## L-FABP



# イメグリミン投与後の乳酸値とeGFR

乳酸 (mg/dl)



# 結語

- 当院でのイメグリミン投与例では特に糖尿病薬の多剤併用例に対する追加投与効果が認められた。
- 統計的にはシスタチンCや尿中アルブミン、L-FABPに対する効果は認めなかったが、一部の症例では腎機能への影響を認めた。
- 今後、症例数を増やした前向き研究の結果が待たれる。